

初夏のクマに注意！

新緑の時期が過ぎて、柔らかい葉や茎が食べられなくなる初夏は、クマにとっては食物が乏しい季節です。同時に、6・7月はクマの発情期でもあるため活動的で、広い範囲を足早に行動します。そのため、人と遭遇する機会も多く、人身被害の発生が懸念されます。

これから山に出かける方は、クマと出遭わないよう、次のことにご注意ください。

◇朝夕は山中に入らない！

クマは朝夕に活発に動きます。

◇鈴、笛、ラジオなど音が出るものを携帯し、クマに自分の存在を知らせる！

クマは聴覚や嗅覚が人より優れているため、人の接近をいち早く察知し、人を避けます。

◇悪天候の日は特に注意！

雨や風の音、霧などにより、クマも人の気配に気づかず至近距離まで接近することがあります。

◇子グマを見たらそっと立ち去る！

小グマの近くには必ず母グマがいます。子グマがかわいいからといって近づくと、母グマは子熊の危険を感じて人を攻撃することがあります。

◇山菜採りはほどほどに！

山菜はクマの好物です。山菜の多いところにはクマもいることが多いので、足跡や糞などを見つけたら引き返しましょう。

◇不測の事態に備えて！

注意をしてもクマと近距離で出遭う場合があります。万が一襲われそうになった場合は、持っているカバンなどで頭部や頸部を守ると、被害を軽減することができます。ヘルメットを着用すると頭部の被害を軽減することができます。接近するクマにはクマ撃退スプレーが効果的です。山仕事などで頻繁に入山する方は携行されることをお勧めします。



ツキノワグマの足跡
(前足と後ろ足)



ツキノワグマの糞



クマ撃退スプレー

◆クマを目撃した場合やクマの痕跡を見つけた場合は、直ちに市町村に連絡してください。

◆クマに出遭った場合の対処方法などについて、
富山県ホームページで詳しくご紹介しています。

ツキノワグマによる人身被害を防止するために

